2013年度版

環境活動レポート

作成日　平成２５年11月30日

大矢建設株式会社

2013年度版

大矢建設株式会社

環境活動レポート

は じ め に

当社は人類存続の基盤である地球環境の保全が世界共通の最優先課題であり、経営上最も配慮すべきひとつであるとの認識に立ち、事業活動が与える影響を的確にとらえ、「環境にやさしいまちづくり」を推進し、積極的な環境保全活動に貢献する企業をめざします。

環境に関する経営理念・方針

【1】地球環境保護のため省資源・省エネルギーを推進します。

【2】環境に関する法律・規制・協定及び自主管理基準を遵守します。

【3】有害廃棄物の発生防止はもちろんのこと、事業活動の過程で発生する汚染の予防、低減に積極的に取り組む。

【4】廃棄物の削減及びリサイクルを推進します。

【5】地域社会の一員として、地域の環境保全活動に積極的に参画し、地域の人々の安全で豊かな暮らしに貢献します。

大矢建設㈱の概要

・事業所名及び代表者名	大矢建設株式会社　代表取締役　大矢 金太郎
・所在地	〒468－0055　名古屋市天白区池場一丁目606番地
・事業内容	建築/土木/舗装/上下水道/造園・石/維持・補修/解体/リフォーム/ﾃﾆｽｸﾗﾌﾞ運営/宅地建物取引業
・従業員数	50人
・担当者氏名	山口　広美
・環境責任者氏名	大澤　浩之
・資本金	8,000万円
・設立	昭和24年10月　創業　　昭和34年10月　法人設立

環境活動の計画と取組結果

項　目	取　組　計　画	取　組　結　果
【電力】	・事務所内にエコ温湿度計を設置し、夏場のエアコンは室内温度を28度また冬場は20度に設定する	・クールビズを実施し、温湿度計を確認しながら適正温度を心がけた
		・クールビズを実践中のプレートを作成掲示した
	・昼食時及び不使用部屋消灯	・各人は基より、各部でも注意を払って照明管理の徹底を実施した
	・昼食時及び外出時はパソコンのディスプレイ電源を切る	・ラベルを目につくところに貼りつけた
	・帰宅時はパソコンの電源を抜く	・社員のパソコンに自動省エネの設定を行った
	・ビル内廊下やトイレ等人感センサーを採用する	・人感センサーを採用し、電力を必要最小限にした
【都市ガス】	・沸騰時にはすぐ消火	・総務部で管理の徹底を実施
	・音の鳴るやかん使用	
【ガソリン】	・マイカー通勤を規制している	・事務職・営業職の社員以外は、マイカー通勤を原則規制している
	・アイドリングストップを積極的に実施し、空ぶかし・急発進などやめ、エコドライブに努める	・エコ10ドライブの促進を行う。
		社内にｴｺ10ドライブのポスターを設置し運転者に意識させた
	・エコドライブセミナーを受講している	・受講した知識等を、社内で講習を開き周知している
	・車両の整備、走行距離の定期的チェックを実施する	・毎月１日に各自車両点検、走行距離等ﾁｪｯｸｼｰﾄに記入している
	・長距離の移動については公共機関を積極的に利用する	・CO2削減のため公共機関を利用した
【水】	・節水こま使用	・節水こまを採用した
	・節水ラベルの貼付けをする	・蛇口付近にラベルを貼り付けた
【リサイクル】	・不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用）	・社内用印刷はﾐｽｺﾋﾟｰを利用し、文書等は両面印刷とした
	・封筒は再利用する	・リサイクル封筒BOXを設置し、誰でも使用できるようにした
	・分別収集によるリサイクル化の実施	・分別BOXを配置し、リサイクルを徹底した

項　目	取　組　計　画	取　組　結　果
【グリーン購入】	・再生紙、非木材紙を購入する	・コピー用紙や名刺を購入している
	・事務用品において、ｸﾞﾘｰﾝﾏｰｸ、PETﾎﾞﾄﾙﾘｻｲｸﾙ推奨ﾏｰｸ、ｸﾞﾘｰﾝﾌﾟﾗﾏｰｸ、ﾊﾞｲｵﾏｽﾏｰｸ、FSC認証ﾏｰｸ、間伐材ﾏｰｸのついた商品を購入する。	・全体の60%位をエコ商品で購入しました
	・レジ袋、割り箸の削減	・出来る限りマイバッグ、マイ箸を利用するようにした
【地域貢献活動】	・ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｬｯﾌﾟを別途回収し、途上国のワクチン費用に充てる	・回収BOXを設置し、関係機関に持参している
	・愛知県安全なまちづくり、交通安全パートナーシップ企業に登録し、その活動の一環として毎月１日と0の日に島田公園及び通学路での誘導や清掃をしています。	・平成19年から6年継続して行っています。
	・名古屋建設業協会主催で2か月に1回名古屋市内の広場、公園等で定期的な清掃活動をしています。	・平成19年2月～2ケ月に1回　41回参加